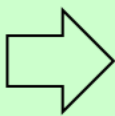


消費者の需要にあわせた米作りと、直売比率向上による米価に左右されない経営の構築
～服部農園有限会社（愛知県大口町）～

経営体の概要

平成11年
基幹作物：水稲、大麦、野菜苗
経営面積：60ha



平成29年
基幹作物：水稲（主食用米、飼料用米）、
大麦、キャベツ、ブロッコ
リー、野菜苗
経営面積：119.5ha



特別栽培米

取組の経緯と経営転換のポイント等

先代の頃（昭和30年代）は露地野菜を作付けしていたが、土地改良事業の実施と集団転作を契機に水田作に移行した。現在は、木津用水からの取水により水が自由に使えることもあり、水稲中心の経営を行っている。

丈夫な苗を育てて栽培する特別栽培米等、農薬や肥料を削減した米作りに取り組んでいる。また、実需者が望む品種の作付や、自社直売所での直売の拡大等、規模拡大による大量生産ではなく、オーダーメイドの米作りを目指している。

営農改善のポイント

①農薬・肥料を削減した米作り

育苗時にローラーによる苗の硬化を行い、丈夫な苗とすることで、農薬使用量を県慣行基準の1/3以下に抑えている。また、平成28年度から農薬不使用の栽培も開始する等、節減対象農薬や化学肥料を削減した米作りを進めている。



服部農園の皆さん

②実需者が望む品種の作付や直売の拡大

実需者が望む品種をリサーチし、作付品種を決定している。平成26年の米価下落を契機に、直売の拡大を進め、米価に影響されない経営を行うため、直売所を開設した。手紙の送付等により、新たな購買者を獲得できたこと等から、売上は増加傾向で推移している。販売単価を上げることにより3～5%/年の成長を目指している。



元氣くん農法（ローラーによる硬化作業）

③担い手の育成・確保

人材の育成に力を入れており、社員の経営感覚習得を目的として、講師を招いて経営研修を開催している。近年は、農業大学校の就職説明会へ参加し、新卒者を社員として採用するとともに、社員から独立して就農した者もあり、新たな担い手の確保に貢献している。



大麦 収穫作業

事業概要

事業種：国営総合農地防災事業
関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び
愛知県名古屋市外12市5町
受益面積：10,139ha
事業期間：平成10年～平成34年
事業目的：農業用排水施設の機能回復
主要工事：頭首工改修1箇所 用水路改修 L=32.0km
排水路改修 L=27.3km

位置図



＜問い合わせ先＞
東海農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：052-223-4638
（平成29年度調査時点）